

# BSNアイネット、クラウド基盤を利用した災害対策サービスにF5ネットワークス社の「BIG-IP」シリーズを採用

ITインフラのソリューション・ディストリビュータである株式会社ネットワークワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 森田晶一）は、株式会社BSNアイネット（所在地：新潟県新潟市、代表取締役社長 川崎嘉朗）が、新たに提供を開始した「災害対策サービス」に、ネットワークワールドが提供するF5ネットワークス社製のアプリケーション・デリバリー・コントローラ「BIG-IP」シリーズを導入し、本稼働を開始したことを発表します。

今回の導入対象である「災害対策サービス」は、広域自然災害等の発生時にも確実な事業継続を実現するためのサービスです。顧客企業の業務システムをBSNアイネットとパートナー企業のクラウド基盤間で相互にレプリケーションし、万一の際には相手側センターから業務復旧を行います。

同社では、ネットワーク分野において豊富な経験と実績を持つネットワークワールドからの提供を受け、先進的な災害対策サービスを実現するためのコンポーネントとして、「BIG-IP Global Traffic Manager（以下BIG-IP GTM）」、「BIG-IP Local Traffic Manager（以下BIG-IP LTM）」、「BIG-IP WAN Optimization Manager（以下BIG-IP WOM）」の3製品を採用しました。

## ◆ 導入の背景

BSNアイネットは、新潟県を中心に事業を展開するシステムインテグレータです。各種の業務ソリューションをトータルに提供するほか、新潟県内2ヶ所に設置された堅牢な自社データセンターを活かしたクラウドサービス「iNET IMAGE BANK」も展開しています。

しかし、昨年3月11日

に発生した東日本大震災では、原発事故による電力供給不安など、センター側のファシリティ強化だけでは対応できない事態が生じました。そこで同社では、県内全域に被害が及ぶような広域災害にも確実に対応すべく、電力会社の管轄が異なる北陸地方の事業者と協業し、クラウド基盤間で相互に遠隔レプリケーションを行う災害対策サービスを提供することとなりました。

## ◆ 導入のポイントと成果

今回の導入にあたり、BIG-IPシリーズが評価された主なポイントと成果は以下の通りです。

### 1. 広域負荷分散による確実な事業継続の実現

BIG-IP

GTMには、離れた場所に存在する複数のデータセンターを一つのURLでまとめて管理する機能が備わっています。今回の災害対策サービスでは、この機能を利用して有事における相手先データセンターへの速やかな切り替えを実現しています。システム管理者はDNSの設定変更等を人手で行う必要がなく、ユーザも今までと同じアドレスでサービスを利用できるなど、迅速かつスムーズに業務を再開できる点が評価されました。

### 2. サイト内負荷分散によるクラウド基盤の信頼性・可用性向上

顧客企業の重要な業務システムを預かるクラウド基盤にとって、高い信頼性・可用性の確保は重

要な要件です。そこで、BIG-IP

LTMの負荷分散機能やヘルスマモニタリング機能を活用し、安定的なサービス提供を実現しています。

### 3. 遠隔レプリケーションの高速化

複数のデータセンターを結ぶ災害対策サービスでは、大容量業務システムのレプリケーションをいかに効率化するかが大きな課題となります。そこで今回採用されたのが、プロトコル最適化やデータ圧縮、重複排除などの機能を提供するBIG-IP

WOMです。相手先データセンターへのデータ転送容量を最大で約1/3に削減するなど、大きな導入効果を挙げています。

### 4. 仮想アプライアンスによる運用管理性向上

BIG-

IPシリーズでは、専用機器で動作するハードウェアアプライアンス製品以外に、仮想環境上で動作する仮想アプライアンス「Virtual

Edition」も提供されています。今回のプロジェクトでは、GTM / LTM / W

OMの3製品をすべて仮想アプライアンスで統一し、運用管理の一元化・効率化に役立てています。

※F5ネットワークス製品の情報は以下をご覧ください。

<http://www.networld.co.jp/f5/main.htm>

### ◆ 今後の展開

同社では、他の電力会社エリアの事業者ともパートナーシップを拡大し、災害対策サービスのネットワークを全国規模に拡げていく構えです。

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>